

# 盛岡を発掘する

## 平成18年度調査速報

**あかやきどき**「あかやき土器」土師器(すえき)製作の技法で作られた土器。ロクロを使わずに作られ、市内では9世紀から出土するようになる。

**あさばち**「浅鉢」高さが口径の1/2以上、1/2未満の土器の器形を浅鉢というが、明確な基準で分類はできない。おもに縄文時代の土器に使用呼称。



浅鉢(盛岡市出土土器)

**いこう**「遺構」過去の人間が地面に残した痕跡。地下に埋没しているものばかりではなく、石垣や寺院などの建物の基礎、古墳の墳丘など地上で観察できるものも含む。

**いせき**「遺跡」過去の人間活動の痕跡。遺構や遺物・遺物包含層のある場所、そのほかかがそなわつていけばよい。全国におよそ44万ヶ所が数えられ、盛岡市内には749ヶ所が登録されている。文化財保護法では埋蔵文化財包蔵地と呼び、開発の前には発掘調査が義務づけられており、人間の歴史を考える上で貴重な役割を担っている。一般的に所在地や字名をもとに名前をつける。学術資料であるばかりでなく、現代生活の足元に眠るその地域のオリジナリティを体現する環境の一部である。

**いぶつ**「遺物」過去の人間活動の動産的な所産。土器や石器など過去の人間が加工・製作した人工遺物と、加工の痕跡はなくとも鉱物や、動植物の遺存体など人間活動の結果もたらされた自然遺物の二つに分けられる。

**いぶつがんそう**「遺物包含層」土器などの遺物が含まれる層のこと。雨などで土が流された時、遺物と一緒に流されて堆積する場合のほか、不要になった土器などが捨てられてできる場合などがある。

前期〜中期の土器。土器の形が筒のようであることから命名された。

**おうしゅうふじわらし**「奥州藤原氏」前後三年の合戦を経て、平泉を拠点として東北地方一円を治めた豪族。城下田沢城の在庁官人として権力を振るった安倍氏や出羽国で権力を誇った清原氏の土器を受け継いだものと考えられる。平泉に仏教化と都市文化を花開かせた。

**おとしあな**「陥し穴」動物を捕獲するため追い込んで落とす穴状の罟。平面形は細長い溝状や丸いものなど様々である。

**かめ**「甕」弥生時代以降の煮炊や液体の貯蔵にも使われた容器の名称。長胴甕、球胴甕など。



甕(堰根遺跡出土甕)

**かわらけ**「かわらけ」土師器の系譜につながる素焼きの埴・皿・鉢形の土器。都市や城館、寺院などから多く出土し、灯明皿や儀式・饗宴などにおける酒杯や皿として使われた都市型・非日常型の土器。素焼きで安価であることから、清浄の象徴として使用しない慣わしである。権威の象徴として儀式・饗宴の規範を実現するために用いられたものと考えられる。

**きょうせき**「経石」小石、個に二字ないし数字の経典を書写した経塚遺物。やや大きめの石に数十文字書かれたものもある。経典埋納供養の一形態で、二字・石経、多字・石経などがある。書写は墨書が一般的だが、朱書もある。経典以外に供養者名、供養年、供養の願意などを記するものもある。



経石(宿田南遺跡出土)

**きょうづか**「経塚」経典を土中に埋納し低いマウンドを伴うことから塚と称される施設。山岳や神社・寺院の境内あるいは高燥

地など、多くは霊地・聖地とされた所にある。一般的には経典を経筒に納めて外容器に入れ、それを土坑または小石室に埋納し、土を土石で覆う。

**しゅうこう**「こう」周溝・濠。古墳や墳丘墓の周りを掘り込んだ溝濠。

**すえき**「須恵器」窯で1000℃以上の温度で焼かれたもの。もとは朝鮮半島から伝わった土器。市内では8世紀以降に出土するようになる。

**そうかくもん**「むかいづつもん」双鶴紋(向鶴紋)。盛岡南部氏一定紋。定紋は江戸時代に幕府に届け出をした家紋で、正式な場で使われたもの。盛岡城の屋根瓦などにも使われていた。双鶴紋を家紋として採用した理由には、いくつかの伝説があるが、その中の一つとして、南部守行が、秋田氏との戦いで苦戦していた時、二羽の鶴が陣中に舞い降り、その後、勝利をおさめたために双鶴紋にしたといわれている。



双鶴紋(盛岡城出土赤瓦)

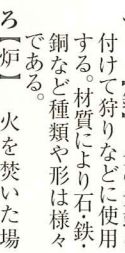
**だいきしきどき**「大木式土器」大木間貝塚(宮城県)より出土した土器を指標とし、縄文時代前期から中期に分類される土器型式。故山内清男氏によって命名された。

**たてあな**「たてあな」地面を掘り、くぼめ、上に屋根をかけた半地下式の住居。夏は涼しく、冬は暖かい。東北北部では縄文時代早期から古代までつづき、中世に入った後も垂直穴建物として、半地下式の建物を利用して、縄文時代には炉が、古代には壁にかまどが備え付けられる。



竪穴住居跡(志波城跡SH459竪穴住居跡)

**つぎ**「環」古代の最も一般的な食器。埴よりも浅く、皿よりも深いもの。土師器や須恵器未製品に多く見られる。時期や地域差で丸底・平底、蓋の有無、高台の有無などの違いが見られる。



上:石鉢 下:鉄鉢

**とうす**「刀子」現在の小刀やナイフにあたる小型で短い刀。使用用途は、木簡を削る文房具・工具・化粧道具・携帯用の短刀・厨房具の包丁などであり、非常に多形である。

れ祈りや祭祀(さいし)に使われていたと考えられる。

**どこう**「土坑」人が意図的に掘った穴のこと。埋葬・貯蔵とみ捨て、粘土採掘、掘立柱などの多様な意図がある。穴ピット。どこう(土坑墓) 穴を掘って墓塚とし、そこに遺体を納めた墓。棺のないものを指し、形状や深さは様々である。

**はじき**「土師器」野焼きで約700(800)℃の温度で焼かれたもの。縄文弥生土器の流れを汲む素焼きの土器。



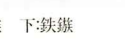
深鉢(重要文化財繁道跡出土深鉢)

**ぼうすいし**「紡錘車」長くつないだ繊維に撚りをつけて糸とする道具。紡錘車の中心の穴に棒を通して、その棒に繊維を装着して全体をコマのように回転させながら撚りを取り、出来た糸を巻き取る。紡錘車の適当な重さがコマのように回転させる役割をもつ。形状は円盤・球・円柱、算盤球形など。材質も土製・石製・鉄製など多様である。



土製紡錘車(西渡遺跡出土)

**ほつたて**穴を掘り、そこに「掘立柱建物」地面に立てた柱で構成される建物。縄文時代から近世まで存続する。柱を埋めるために掘った穴のことを掘り方という。



木箱(箱形木棺などの形態がある)

**もつかん**「木棺」材質に木材を使用した遺物を納める棺。時代や地域によって、割竹形木箱・箱形木棺などの形態がある。

平成19年2月1日~6月24日

盛岡市遺跡の学び館

いゆくだみなみいせき  
**宿田南遺跡第9次調査**(北夕顔瀬)

今年度は、個人住宅の建設にともなう調査を行い、**経石**を納めた**経塚**1基、江戸時代の土坑墓20基、時期不明の盛土遺構と溝跡などがみつけられました。経石は一字一石と多字一石の2種類が出土しました。一字一石は片面に書写されているもので、その文字の大半は梵字でした。多字一石は両面に隙間なく経典(法華経か)が書写されており、県内でも出土例が少ないものです。全国の類例から鎌倉時代頃のものが多く、今回の経塚もその時期に造られた可能性があります。なお、来年度も発掘調査を継続します。



経石(多字一石)

みなみせんぼくいせき  
**南仙北遺跡第38次調査**(向中野)

これまでの調査で、奈良・平安時代の集落跡を主体とした遺構が見つかっています。今年度は盛岡南新都市整備(盛南開発)にともなう調査が行われ、平安時代の**竪穴住居跡**9棟・土坑4基、平安時代以降の大溝跡1条、江戸時代以降の溝跡13条が見つかりました。出土遺物は、平安時代の土器のほか、鉄製の**刀子**・**釘**・**紡錘車**などが出土しました。大溝跡は集落の区画などの目的で築造されたと考えられます。江戸時代の溝跡2条は、南北にはぼ平行に走るもので、道路側溝の可能性がありま



調査区全景

にしかどいせき  
**西鹿渡遺跡第20次調査**(西見前)

これまでの調査で、奈良・平安時代の集落跡が見つかっています。今回の調査では、奈良時代の**竪穴住居跡**2棟、**竪穴状遺構**1棟が見つかりました。竪穴住居跡は、一辺5m以上の大形のものでした。竪穴状遺構は、2m×3mの小形のものでカマドが無く、床面中央に地床炉がありました。出土遺物は、土師器の**坏**・**甕**・**長頸瓶**などが出土しました。土師器の長頸瓶は、周辺の地域からの出土例がなく、須恵器の模造品と考えられます。



調査風景

たかやぐら いせき  
**高櫓A遺跡第3次調査**(永井)

これまでの調査で、奈良時代を中心とした**竪穴住居跡**や**円形周溝**などが確認されています。今年度の調査は、宅地造成の事前調査を行い、奈良時代の**竪穴住居跡**が11棟・土坑8基、江戸時代の**掘立柱列**1列・**竪穴**2基が見つかりました。竪穴住居跡は1辺3mの小形のものから、1辺7mの大形のものまでありました。また、遺物は奈良時代の土器、土製**紡錘車**、鉄製品などが出土しています。大形の竪穴住居跡ほど遺物の出土量が多く、これらは集落の首長や家父長などの住居と考えられます。



奈良時代の大形竪穴住居跡

～今年度調査した遺跡～



ひるくほごいせき  
**日久保V遺跡第2次調査**(芋田)

これまでの調査で、縄文時代の**陥し穴**が発見されており、当時はシカなどを捕獲した狩猟場であったと考えられる遺跡です。今年度の調査は国道建設にともなう事前調査として行いました。その結果、縄文時代早期と中期の**竪穴住居跡**、土坑19基、**陥し穴**2基、縄文時代早期～晩期の遺物包含層が見つかりました。確認された遺構や遺物から縄文時代を通して生活が営まれていたと考えられます。



縄文時代の竪穴住居跡

もりおかしょうとおくるわあと  
**盛岡城遠曲輪跡第13次調査**(本町通)

遠曲輪とは盛岡城の**いちばん外側**のエリアです。今年度の調査は、寺院の本堂及び庫裏の改築にともなう事前調査をおこない、**堀跡**1条、堀の埋土中から盛岡南部氏の御紋である**向鶴**を施した**燻瓦**や**赤瓦**、**窯道具**や**陶器**の未成品などもみつけられました。調査区は江戸時代に「**花屋丁惣門**」と呼ばれ、城下への入り口の一つでした。また、花屋丁惣門近くには宝永年間(1704～)から盛岡藩の御用瓦窯である「**寺町窯**」があったと天保4年(1833年)に著された『**盛岡砂子**』に記載されていることから、今回出土した遺物は「**寺町窯**」が近くに存在していたことを示す貴重な資料といえます。



調査区全景

さんのうやまいせき  
**山王山遺跡第11次調査**(山王町)

これまでの調査で、縄文時代中期の集落跡や土坑群が見つかっています。今年度は宅地造成にともなう調査をおこない、縄文時代中期の土坑12基、縄文時代早期の遺物包含層が見つかりました。12基のうち11基の土坑は、比較的深く掘られており、当時は**貯蔵穴**として利用されていたものと考えられます。遺物包含層からは、縄文時代早期の土器片や石器、剥片などが出土しました。



土器出土状況

うわばたけいせき  
**上畑遺跡第9次調査**(西見前)

これまでの調査で、平安時代の集落跡が見つかっています。今年度は共同住宅建設にともなう事前調査をおこないました。その結果、奈良時代の**竪穴住居跡**6棟、平安時代の**竪穴住居跡**5棟、**掘立柱建物跡**1棟、縄文時代晩期の遺物包含層などがみつけられました。このうち掘立柱建物跡は、柱の配置などから、**高床式倉庫跡**と考えられます。また、縄文時代晩期の土器もみつけられ、この時代の人々の生活が営まれていたことがわかりました。



調査区全景

# 盛岡市内のおもな遺跡と時代

	時代	年代	市内の主な遺跡	今年度調査遺跡
原始	旧石器時代	約12,000～ 草創期	小石川遺跡(玉山区藪川)	
	縄文時代	約8,500～ 早期	大新町遺跡(大新町)	
		約6,000～ 前期	大新町遺跡(大新町) 館坂遺跡(前九年) 日戸遺跡(玉山区日戸) 新茶屋遺跡(山岸)	昼久保V遺跡(玉山区芋田)
		約5,000～ 中期	上八木田遺跡(八木田) 畑遺跡(上米内)	
		約4,000～ 後期	大館町遺跡(大館町) 柿ノ木平遺跡(浅岸) 繫V遺跡(繫) 上米内遺跡(上米内) 川目C遺跡(川目) 湯沢遺跡(湯沢)	山王山遺跡(山王町) 繫V遺跡(繫) 繫VII遺跡(繫)
		約3,000～ 晩期	大葛遺跡(浅岸) 落合遺跡(下米内)	黒石野平遺跡(黒石野)
約2,300～	上平遺跡(猪去) 手代森遺跡(手代森) 川目A遺跡(川目) 宇登遺跡(玉山区川又)			
弥生・古墳	弥生時代	約2,300～	手代森遺跡(手代森) 一本松遺跡(下米内)	
	古墳時代	約1,700～ 4～7世紀	永福寺山遺跡(下米内) 薬師社脇遺跡(浅岸) 上田蝦夷森古墳群(黒石野) 竹鼻遺跡(上鹿妻)	
古代	奈良時代	約1,300～ 8世紀	太田蝦夷森古墳群(上太田) 百目木遺跡(三本柳) 台太郎遺跡(向中野) 西鹿渡遺跡(三本柳) 永井古墳群(玉山区永井)	西鹿渡遺跡(三本柳) 高櫓A遺跡(永井)
	平安時代	約1,200～ 9～12世紀	志波城跡(下太田) 台太郎遺跡(向中野) 前野遺跡(浅岸) 乙部方八丁遺跡(乙部) 林崎遺跡(下太田) 稲荷町遺跡(稲荷町)	志波城跡(下太田) 新堰端遺跡(下太田) 上畑遺跡(西見前) 南仙北遺跡(向中野) 小幅遺跡(本宮) 宮沢遺跡(本宮)
中世	鎌倉～ 戦国時代	約800～ 13～16世紀	落合遺跡(下米内) 里館遺跡(天昌寺町) 安倍館遺跡(安倍館町) 玉山館(玉山区玉山)	里館遺跡(天昌寺町) 宿田南遺跡(北夕顏瀬)
近世	江戸時代	約400～140年前 17～19世紀	盛岡城跡(内丸) 南部家墓所(北山)	盛岡城遠曲輪跡(本町通) 南仙北遺跡(向中野)

## 遺跡の学び館セミナー「今年度の調査報告」

～昼久保V遺跡・南仙北遺跡・高櫓A遺跡・志波城跡・宿田南遺跡・盛岡城遠曲輪跡～

■日時／平成19年3月4日(日) 13:30～15:00

■講師／遺跡の学び館職員

■会場／盛岡市遺跡の学び館 研修室(定員80名) ※入場無料・直接会場にお越し下さい。

今年度の発掘調査の成果について、調査担当者が映像等をまじえてわかりやすく解説します。